

快適をかたちに
KANESO



翹カネソウ株式会社

第46期 報告書

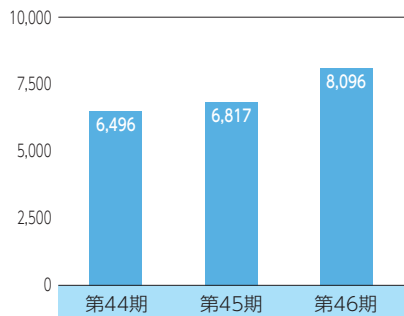
2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

証券コード ● 5979

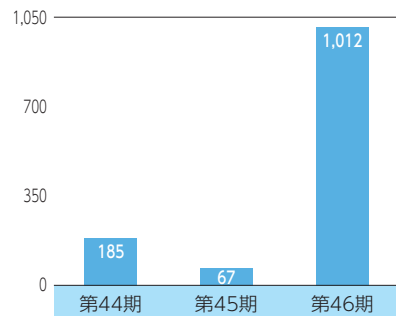


財務ハイライト

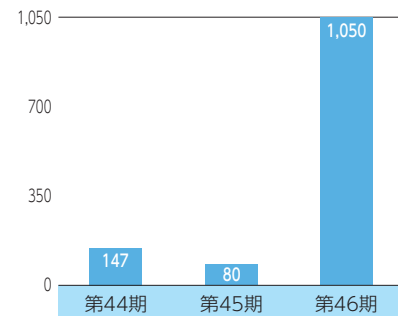
売上高 (百万円)



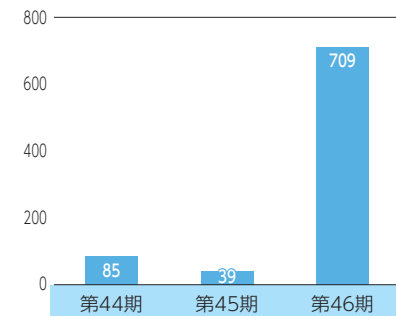
営業利益 (百万円)



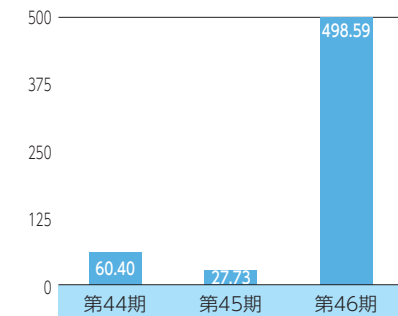
経常利益 (百万円)



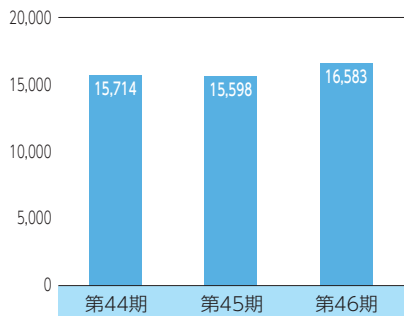
当期純利益 (百万円)



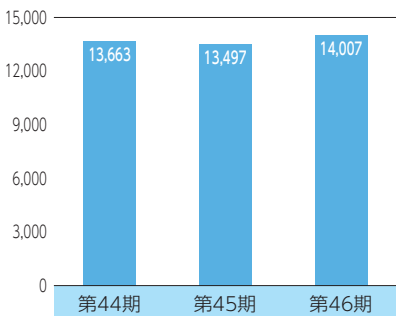
1株当たり当期純利益金額 (円)



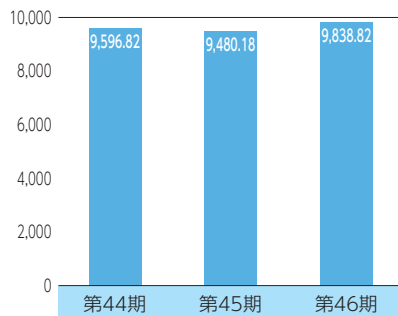
総資産 (百万円)



純資産 (百万円)



1株当たり純資産 (円)





株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第46期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の事業の概況等をご報告申し上げます。

2023年6月

代表取締役社長 豊田 悟志

■事業の経過及び成果

当事業年度における国内経済は、度重なる新型コロナウイルス感染症が収束しないものの、その拡大に一定の歯止めがかかり、各種規制の緩和により、経済、社会活動の正常化に向けた動きが進むとともに、景気は緩やかに持ち直してきました。一方で、長期化するロシア・ウクライナ情勢など地政学リスクは高まり、世界的なエネルギーコストをはじめ、資源、原材料価格等など物価が上昇し、為替、金融環境の変動の影響もあり、依然として不透明な状況が続きました。当社の主要な市場であります建設関連業界におきましては、公共投資が底堅く推移し、民間設備投資も緩やかながら回復してまいりましたが、資材価格などコストの上昇が続き、取り巻く事業環境は変動の要因も多い状況が続きました。

その結果、売上高は、80億96百万円(前年同期比18.8%増)となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。

鋳鉄器材は、堅調な建築工事により雨水排水・防水関連製品の増加基調が続きましたことと、外構、街路関連や設備投資の改善により外構・街路関連製品が増加したことから、22億33百万円(同26.0%増)となりました。

スチール機材は、民間設備投資がやや持ち直したことや、外構関連の改善はあるものの、外構・街路関連製品の納入は伸びを欠き、11億86百万円(同7.3%増)となりました。

製作金物は、当期における防災関連製品の納入がやや伸びを欠きましたが、外構、街路等景観整備工事の回復

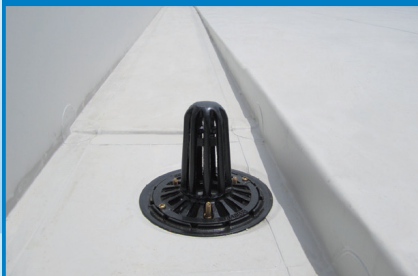
基調が続き、外構・街路関連製品が大きく増加し、建築工事関連も改善し建築金物が増加したことから、39億96百万円(同20.2%増)となりました。

その他鋳造製品は、土木向け受託需要が減少しましたが、建機、機械向け製品が、納入先の堅調な需要により、改善基調が続き、6億78百万円(同10.9%増)となりました。

利益につきましては、材料価格の高騰や、電力料をはじめとする諸物価の上昇が続くなど、生産におけるコスト環境は、厳しい状況が続きました。こうした状況の中で、市場における需要が回復傾向にあることや、原価改善に向けた生産性の向上、販売価格の適正化により、収益の改善、及び需要に対する安定供給に取り組んでまいりました結果、売上総利益は、30億74百万円(同45.8%増)となりました。販売費及び一般管理費につきましても、物価上昇による経費負担の増加もありますが、軽減に努め、20億62百万円(同1.0%増)となりました。その結果、営業利益は10億12百万円(前事業年度は67百万円)となりました。営業外損益につきましては、低金利の環境が続く状況は変わらないものの、当年度における設備の廃棄に伴う収益の発生もあり改善しました。その結果、経常利益は10億50百万円(前事業年度は80百万円)となり、一部の保有不動産に関して時価の下落による減損損失を計上しましたことから、当期純利益は7億9百万円(前事業年度は39百万円)となりました。

快適な生活環境の創造に向けて

雨水排水・防水関連製品



ルーフドレン

建築金物



フローアーハッチ



外構・街路関連製品



U字溝用スリットみぞ蓋

外構・街路関連製品



ステンレス製グレーチング

外構・街路関連製品



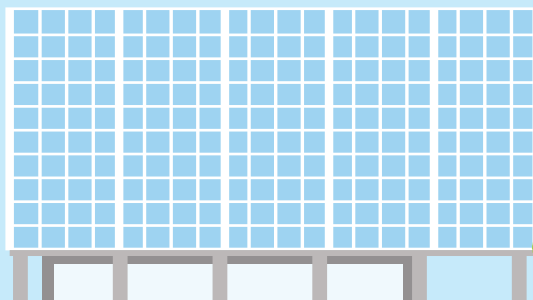
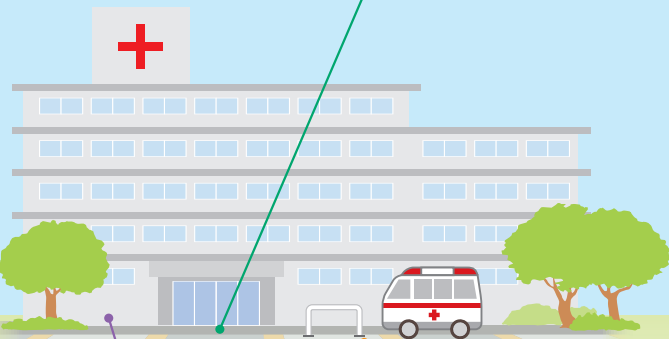
スチール製グレーチング

カネソウは歩みつづけます。

防災関連製品



免震エキスパンションジョイント



建築金物



ピット金物

外構・街路関連製品



車止め

外構・街路関連製品



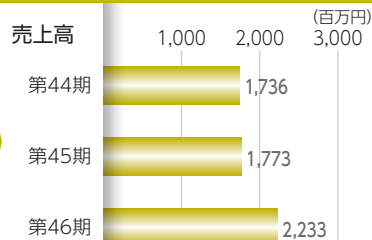
マンホール鉄蓋

製品分類別の状況

鋳鉄器材

売上高 **2,233**百万円

前年同期比 **26.0%**増



- **主な製品**
- ルーフドレン
 - マンホール鉄蓋
 - 車止め

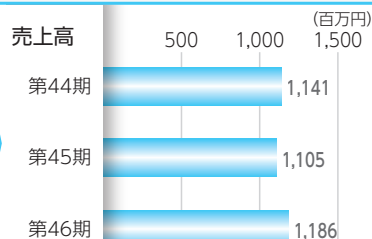


ルーフドレン

スチール機材

売上高 **1,186**百万円

前年同期比 **7.3%**増



- **主な製品**
- スチール製グレーチング

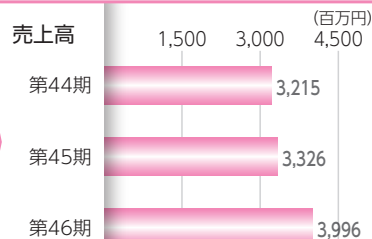


スチール製グレーチング

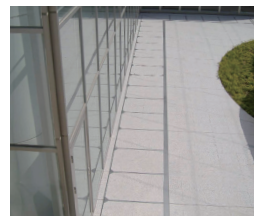
製作金物

売上高 **3,996**百万円

前年同期比 **20.2%**増



- **主な製品**
- ステンレス製グレーチング
 - ピット金物
 - フローアハッチ
 - 免震エキスパンションジョイント
 - じ字溝用スリットみぞ蓋
 - カラー舗装用みぞ蓋
 - たてとい

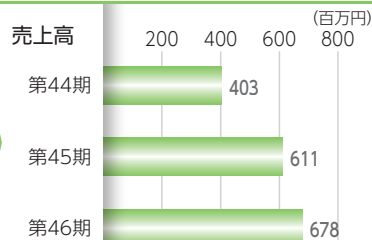


EXジョイント

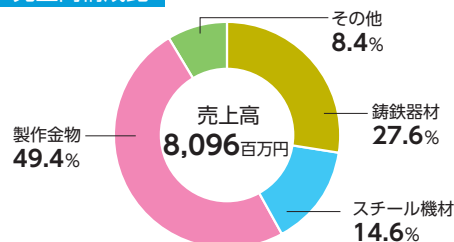
その他

売上高 **678**百万円

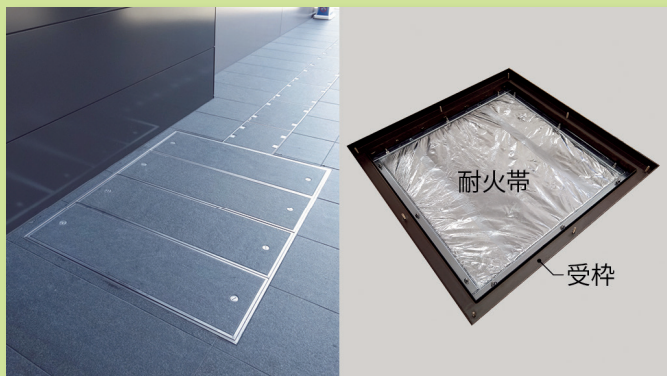
前年同期比 **10.9%**増



売上高構成比



新製品のご紹介



マシンハッチ 耐火型

ビルの機械室や免震層などの、大型機械・設備の搬入口、点検口としてお使いいただくマシンハッチで、火災時の避難通路確保、延焼防止のための耐火仕様です。1300℃以上の温度に耐えられる、耐火材を装着しています。



無型枠工法 ピット形成ユニット

屋内の床に配線・配管用ピットや排水ピットを設ける場合に、木製の型枠を使用せず、繊維強化セメントボードを使用してピット（溝）を形成するユニットです。型枠の設置・撤去作業が省け、工期短縮が図れます。また、工事後の型枠廃材を無くすことができます。



ガイドポール

店舗出入口、建物の外構オープンスペース、駐車場など、プライバシー空間を守るためのアイテムです。スケルトン構造で、存在感が控えめなデザインを採用しています。

形式ばらない、建物の外回りの空間に設置するためのアイテムです。

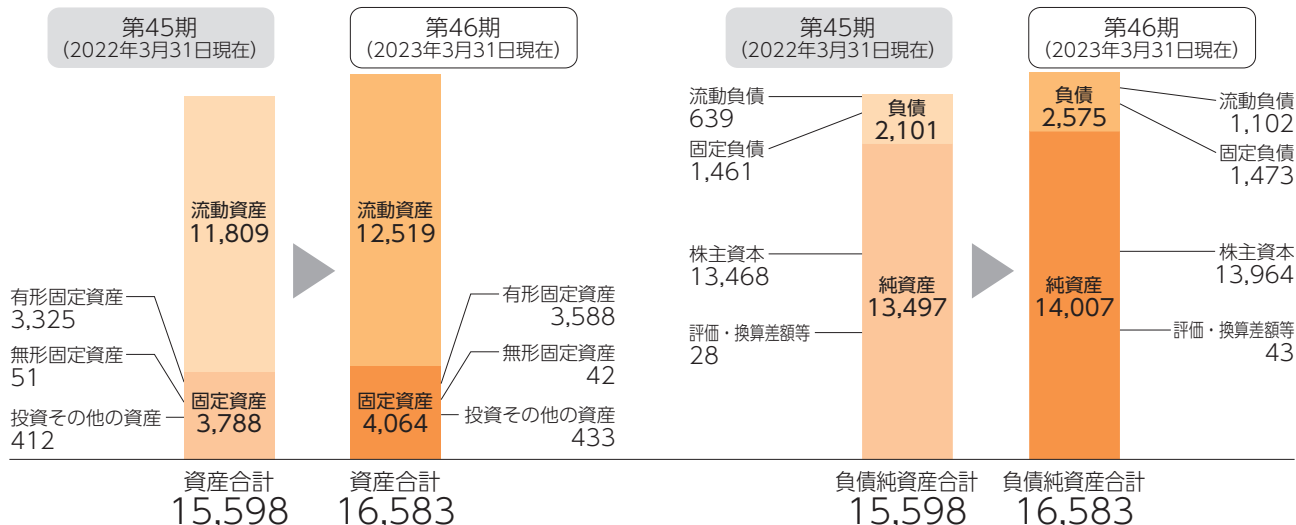


受枠一体型鋼製自由勾配側溝

鋼製の受枠一体型自由勾配側溝です。現場打側溝のように型枠設置が不要で、工期短縮が図れます。みぞの底部は解放状態となっており、モルタルで勾配調整が可能です。蓋はボルト固定式のスチール製グレーチングで、駐車場出入口部の側溝などに適します。

貸借対照表の概要

(百万円)



■ 財政状態について

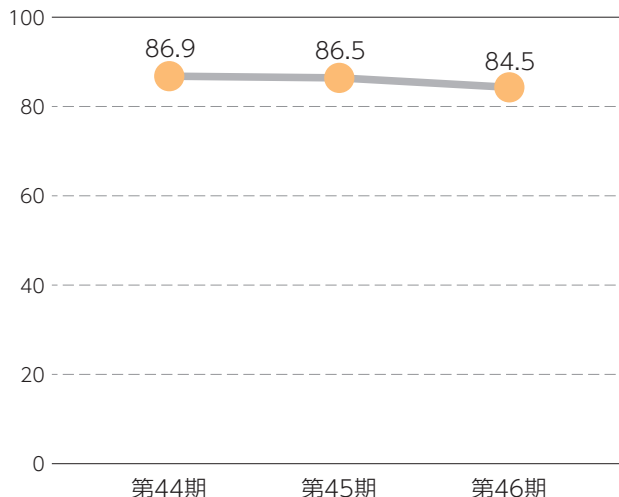
資産総額は165億83百万円となり、前事業年度末に比べ9億84百万円増加いたしました。これは主に、流動資産のうち、有価証券が4億円減少しましたが、現金及び預金が4億80百万円、売掛金が1億68百万円、固定資産のうち、建設仮勘定が3億6百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債総額は25億75百万円となり、前事業年度末に比べ4億74百万円増加いたしました。これは主に、流動負債のうち、未払法人税等が3億00百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は140億7百万円となり、前事業年度末に比べ5億10百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当が2億13百万円ありましたが、当期純利益の計上が7億9百万円あったこと等によるものであります。

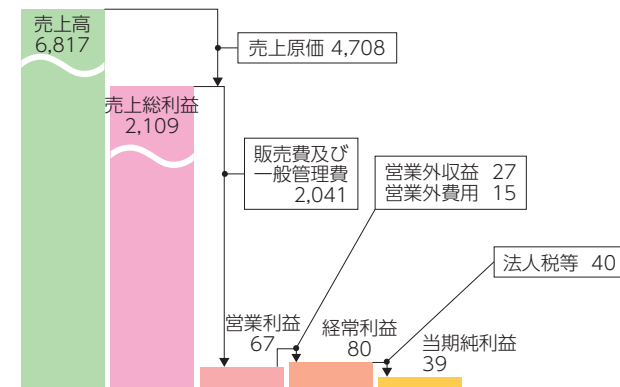
自己資本比率の推移

(%)

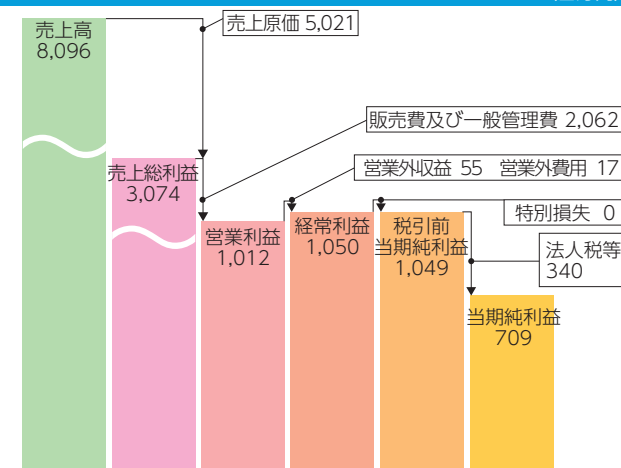


損益計算書の概要

(百万円)



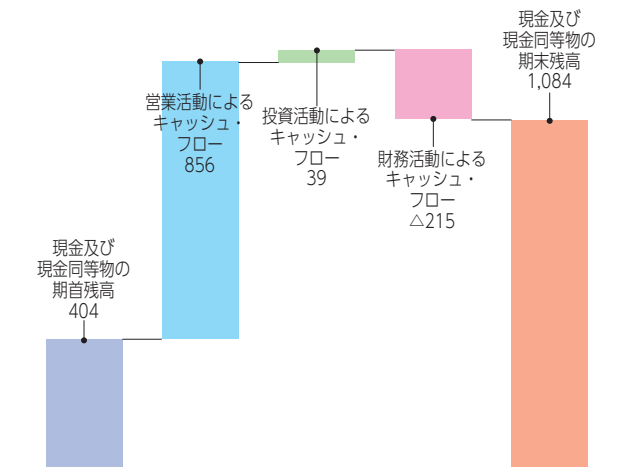
第45期
(2021年4月1日から2022年3月31日まで)



第46期
(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



第46期
(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は、8億56百万円(前期比4億93百万円の収入増)となりました。

これは主に、売上債権の増加が3億75百万円、棚卸資産の増加が2億59百万円、法人税等の支払額が64百万円ありましたが、税引前当期純利益の計上が10億49百万円あったこと等によるものであります。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、得られた資金は、39百万円(前事業年度は4億74百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の預入による支出が92億50百万円、有形固定資産の取得による支出が5億53百万円ありましたが、定期預金の払戻による収入が94億50百万円、有価証券の償還による収入が4億円あったこと等によるものであります。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金は、2億15百万円(前期比2百万円の支出増)となりました。

これは、配当金の支払が2億14百万円あったことによるものであります。

当社の概要

商号	カネソウ株式会社 (KANESO Co.,LTD.)
本社所在地	三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
電話番号	(059) 377-4747 (代表)
設立	昭和54年10月23日
資本金	1,820,000,000円
事業の内容	建設用金属製品の製造・販売
従業員数	248名

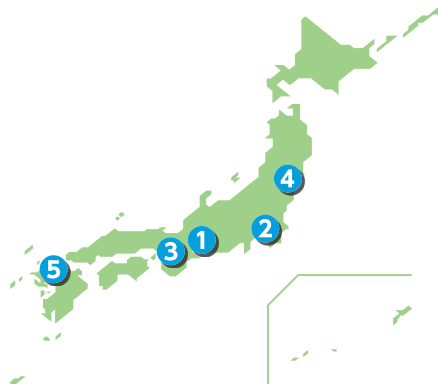
役員

(2023年6月23日現在)

代表取締役会長	小林 正和
代表取締役社長	豊田 悟志
専務取締役	南川 智之
専務取締役	福田 昭人
常務取締役	石川 文和
常務取締役	松田 洋一
取締役	小林 永朋
取締役	近藤 健治
取締役(監査等委員)	山田 耕二
取締役(監査等委員)	山田 康之
取締役(監査等委員)	荒木 康行

(注) 取締役(監査等委員)山田康之及び荒木康行の両氏は、社外取締役であります。

事業所



① 本朝日工場	〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
② 東京支店	〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番5号 JBビルディング3F
③ 大阪営業所	〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1丁目3番10号 信濃橋富士ビル10F
④ 仙台営業所	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町一丁目1番8号 第3青葉ビル9F
⑤ 福岡営業所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前四丁目8番15号 博多鳳城ビル6F

株式情報

株式の状況

発行可能株式総数	4,000,000株
発行済株式総数(自己株式を除く)	1,423,710株
株主数	615名
単元株式数	100株

大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
小林鑄造有限会社	375,000	26.33
小林正和	315,000	22.12
小林昭三	100,000	7.02
小林誠子	100,000	7.02
小林裕和	100,000	7.02
榊原静枝	45,000	3.16
神谷布左子	45,000	3.16
石川商事株式会社	20,900	1.46
株式会社百五銀行	15,600	1.09
カネソウ従業員持株会	15,000	1.05

(注) 上記のほか、当社保有の自己株式16,290株があります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日

定時株主総会・期末配当 毎年3月31日

中間配当 毎年9月30日

公告掲載新聞 日本経済新聞

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
(電話照会先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話:0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
本店および全国各支店で行っております。

株式に関する手続き

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座を お持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社に お問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)
●単元未満株式の買取請求 その他お手続きに関する事項		
●未払配当金	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)	



当社ホームページのご案内
企業情報や製品情報を掲載しております。



<http://www.kaneso.co.jp>



環境に配慮し、植物油インキを使用しています。